

長月愛南文芸

内海俳句会

積乱雲生みたる海の力かな
濡れ縁の闇をたのしむ団扇かな
蝉時雨峡の静寂揺がせぬ
想念に黙す夜長の灯も更けぬ

太田 信子

岩森十志子

檳榔子俳句会

里の今見て来てほしい赤とんぼ
語部といふ生き甲斐や生身魂
夕空に溶けるのが好き赤とんぼ
訥訥と語り始めし生身魂
白鷺は子の化身かも今朝も田に
口説き手の塩辛声や盆槽
下駄音もリズムの一つ盆踊り
抑留所の暮しに触れず生身魂
踊る輪を立て直したる大太鼓

吉田 朝子

五島 節子

山口 和子

山口 堇

濱野 康子

田中 博子

三好ミキエ

吉田モミエ

井上 論天

みなみうわ俳句会

今朝の虹みるみるうちに村包む
素足すき下駄もだいすき銭湯も
夏草に一輪の花名を尋ね
お山開き白衣に赤きスニーカー
沢音の遠くなりけり炎天下

清水 麗子

濱 初榮

竹村 勝利

木村 智子

中川千代子

西海俳句会

夏が来る子守の夏がやって来る
七夕や子の健康を唯祈る
娘らの訪問を待つ梅雨の日々
山の日や「ふる里」の歌口ずさむ
谷出水じいじいと蝉鳴き出しぬ

吉田 勝也

吉田 笑代

浜木チズエ

利根早智江

吉田 弘定

はじめまして。赤ちゃん。

7月受付分(敬称略)

| 地区名 | 子の名 | 保護者 |
|-----|-----|-----|
|-----|-----|-----|

ご冥福をお祈りします。

7月受付分(敬称略)

| 地区名 | 亡くなった方 | 満年齢 |
|-----|--------|-----|
|-----|--------|-----|

▶歌人をご紹介します

さわらび短歌会

前田 充さん(城辺甲)



「さわらび短歌会」は昭和31年に旧一本松町で発足した短歌会です。以来60年絶えることなく活動を続け、月1回発行している手作りの歌誌は間もなく700号を迎えます。

職場の友人に勧められ作歌を始めて50年になります。平成26年に歌集「木蓮の家」を出版しました。6年前に先輩からバトンを受け継ぎ、後進の指導にあたっています。これからも月1回の歌会を楽しみに、ささやかな日々の暮らしを詠み続けようと思います。

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。